

オレンジブック 2021 年版 第 1 刷 ⑦病態・薬物治療 訂正表

2020 年 6 月 30 日現在

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

ページ	箇所	訂正前	訂正前
35	(3) 平均赤血球血色素濃度 (MCHC)	赤血球に含まれるヘモグロビンの濃度を表す。MCV を MCH で割ることで求められる。 $\text{MCHC} = \frac{\text{平均赤血球容積 (MCV)}}{\text{平均赤血球血色素量 (MCH)}}$	赤血球に含まれるヘモグロビンの濃度を表す。MCH を MCV で割ることで求められる。 $\text{MCHC} = \frac{\text{平均赤血球血色素量 (MCH)}}{\text{平均赤血球容積 (MCV)}}$
189	問 17 解答	4	1
297	問 9 選択肢 5	高 K ⁺ 血	高 K ⁺ 血症
498	問 1 選択肢 3	1 中高年以上に多い。	中高年以上に多い。
637	問 19 解答解説	解答：4 結核菌は感染者のくしゃみや咳と一緒に排出され、くしゃみや咳の水分が蒸発した後結核菌のみが空中に飛散して飛沫核感染（空気感染）を引き起こす。	解答：2 抗菌薬の投与により、通常、病原性を有する細菌の増殖を抑制する常在菌を形成する細菌が死滅し、抗菌薬耐性をもつ病原性を有する細菌が異常に増殖する。これを菌交代現象という。菌交代現象により、大腸に炎症などの症状を認めるものを偽膜性大腸炎といい、その代表的な起因菌は <i>Clostridium difficile</i> である。治療として原因となる抗菌薬の変更、バンコマイシンやメトロニダゾールの経口薬を投与する。